

KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 純 熊本だより

2018.February Vol.05

KIRIN



新・一番搾り

「たさんごの愛飲に、心からの感謝！」



熊本ならではの
食・旅・人を応援!
さしより「一番搾り」で
熊本をもっと元気に!!

キリンビール熊本支社では、九州各県の支社と連携し、「世界一の九州をつくろう。」のスローガンのもと、地域とのつながりを大切に、熊本ならではの食・旅・人を応援し、日本全国や世界に発信する取り組みを展開しています。



誇れる熊本を、熊本の方々と一緒に、もっともっとつくりていきたいと思います。
当支社では、2018年も「熊本生まれ」の元気を、日本へ、世界へ発信していきます！

キリングループは、
熊本の食・旅・人を応援します

食



旅



人



※画像は展開例です

新・一番搾り 熊本で絶好調

2017年キリン一番搾り販売量 前年比
リニューアル後(2017年9月~12月) 前年比107%
リニューアル前(2017年1月~8月) 前年比100%

7%
UP!

一番搾りを通じた熊本地震復興支援寄付金(2016年~)

合計 1億5723万円

※日本財団の協力のもと、「復興応援 キリン純 熊本支援として、熊本地震からの復興支援策に活用しています。

●2016年「47都道府県の一番搾り」(6月発売の熊本づくりを含む)

8180万円
※1本1円

●2016年10月全国発売「一番搾り 熊本づくり」

7500万円
※1本10円

●2017年「一番搾り 阿蘇の草原に乾杯」

43万円
※1本1円

「一番うまいビールをつくるんだ」という、ビールづくりにかける熱い想いから生まれた「一番搾り」。2017年も、熊本のお客様にたくさんのご愛飲をいただき、ありがとうございました。

昨年は、熊本が大好きなお客様と一緒につくりあげた「一番搾り熊本に乾杯」を皮切りに、1000回を超えた。

熊本に乾杯」(2017年6月発売)がどうぞいました。2017年も、熊本のお客様と一緒につくりあげた「一番搾り」が登場。おかげまで、いずれも大好評のうちに

2018年を迎えることとなりました。

る試験醸造を繰り返してたどり着いた「新・一番搾り」(2017年9月フルリニューアル)、そして阿蘇の世界文化遺産登録を応援した「一番搾り 阿蘇の草原に乾杯」デザイン品(2017年10月発売)と、3つの「一番搾り」が登場。おかげまで、いずれも大好評のうちに

2018年を迎えることとなりました。

今年も、キリンビール熊本支社では「やっぱりビールはおいしい、うれしい」と感じていただける時間を探して参ります。

2018年も、キリンビールと一緒に「一番搾り」をどうぞよろしくお願ひいたします。

新
おいしいビールが
売れてます。



福岡工場製造

CRAFT BEER
クラフトビール、それはビールを楽しむ。RECOMMEND!//

タップ・マルシェ
新開発、1台で4種類のビールを販売できる、4タップディスペンサー。

よなよなエール
TYPE:アメリカン・ペールエール
Alc.5.5% / ヤッホーブルーイング

ブルックリンラガー
TYPE:アンバーラガー
Alc.5.0% / ブルックリンブルワリー

496(ヨンキヨーロク)
TYPE:IPL / Alc.5.5%
スプリングバレーブルワリー

on the cloud(オンザクラウド)
TYPE:ウートエール / Alc.5.5%
スプリングバレーブルワリー

阿蘇ハイボール。
大自然を美味しく呑もう。

「本格焼酎白水」は、「仕込み水」に球磨川伏流水を、味わいを大きめにする「割り水」に「名水百選 南阿蘇白川水源水」を使用し、やわらかく、まろやかな味わいと後口のキレが特長の「水」にこだわった焼酎です。白川水源がある南阿蘇村は、2016年4月の熊本地震において多大なる被害に遭いましたが、白川水源は枯れることなく、断水期間は、周辺住民の命を繋ぐ役割を果たしていました。

阿蘇ハイボール
本格焼酎
白水

おいしい無糖
九州の名物!
ちくわサラダ
九州めし
九州の紅茶とピッタリ

キリン 午後の紅茶
おいしい無糖
九州の紅茶とピッタリ

本格紅茶の味わいとすっきりとした飲みやすさがお食事と相性抜群!
「午後の紅茶 おいしい無糖」と一緒にいかがでしょうか?

九州めし
九州の紅茶とピッタリ



ストップ! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。
妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。



キリンビール株式会社 九州統括本部
メルシャン株式会社
キリンビバレッジ株式会社 九州地区本部

キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

〈2017年9月～12月の取り組みをご紹介いたします。〉

熊本県

10/10 熊本県「郷土の食材開発モデル事業」として
南阿蘇村・西原村・甲佐町の3プロジェクトを応援

熊本県選定による3プロジェクト、南阿蘇村環境保全農業推進協議会「南阿蘇のあか牛と南阿蘇そばのヘルシーハンバーガープロジェクト」、西原村特産品ブランド化推進協議会「西原村特産品ブランド化プロジェクト(シルクスイート)」、甲佐町食による復興協議会「ニラでつながる甲佐町元気プロジェクト」を推進します。



熊本県

12/8 くまもと農産物等トータルブランド再興プロジェクト
～10 首都圏PR「がんばるけん熊本!くまもとの赤クリスマス」を応援

熊本県は、「くまもとあか牛」や県産いちご「ゆうべに」など「くまもとの赤」ブランドの首都圏での認知度向上を図るために、「二子玉川ライズガレリア」において、「がんばるけん熊本!くまもとの赤クリスマス」を開催。蒲島県知事、「くまモン」が県産品をPR。販売ブースには終始行列ができ、売り切れる商品も出るなど大好評でした。



くまもとDMC「阿蘇ビジネストレーニングセンタープロジェクト」

9/26 食と観光の融合できる仕組みづくりを推進
「阿蘇ビジネストレーニングセンタープロジェクト」始動!

阿蘇地域の農業、観光業に携わる事業者や行政関係者を対象にした全5回のプロジェクトが、9月26日スタート。月に1回程度、観光や情報発信の専門家を招き、ワークショップなどの実践を交えて、阿蘇エリアの食と観光の融合できる仕組みづくりを推進し、魅力的な観光地域づくりを後押ししていきます。



阿蘇千年草原コンソーシアム

10/19 阿蘇の草原と火山を満喫しよう!
「農家で作る千年草原ファンプロジェクト」を応援

千年もの長い間守られてきた阿蘇の草原を見るだけではなく体験して、楽しみ、草原と火山を満喫し、好きになっていただくことを目指します。「阿蘇草原BBQ」として、あか牛や草原野菜など阿蘇の草原に由来する食材を使用し、農業者が草原の中でおもてなしを行うことで、千年草原の価値を知っていただく事業を展開します。



南阿蘇村きらめきコンソーシアム

10/13 「水の生まれる郷“南阿蘇村”」のブランディング
「南阿蘇村きらめきプロジェクト」を応援

南阿蘇村の復興計画をもとに、官民一体の組織「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」を設立。「水の生まれる郷“南阿蘇村”」として、資源である“水”的魅力を磨くことで南阿蘇村の水のブランディングを行います。10月21日の「あそのみなみのあきまつり」では、吉良清一村長による“村長宣言”が行われました。



熊本市

10/10 熊本市 コンベンション開催促進セミナー
レセプション体験会、熊本城 城彩苑で開催

10月10日のコンベンション開催促進セミナーには主催者のほか、事業者、地域団体の関係者らが参加。熊本城に隣接する城彩苑で、レセプション体験会が行われ、熊本ならではの料理や、県産食材を使ったメニューが提供され、「熊本城おもてなし武将隊」の演舞や熊本民謡に合わせた子ども舞踊なども披露されました。



熊本県産牛肉消費拡大推進協議会

11/24 「くまもとあか牛 ブランド力強化プロジェクト」
(熊本県で誕生した和牛“あか牛”)を応援

ヘルシーな赤身肉、阿蘇の広大な草原での放牧風景等、多くの魅力を持つ「くまもとあか牛」のブランド力強化を通じ、消費者のあか牛への関心と生産者の意欲向上を図り、農業と観光業の両面から地域活性化につなげ、被災地域の復興に向けた取組を行います。



一般社団法人 阿蘇門前町商店街振興協会

10/16 商店街共通のブランドを立ち上げ、地域ならではの商品づくりに挑む「阿蘇かがやきプロジェクト」を応援

おいしい湧き水・地元食材を使った地域ならではの食べ物を知っていただるために、商店街共通のブランド「ASO MONZON」を協働で創り上げます。商店街が同じ目的を持ち、協働で地域ブランドの育成や商品開発に取り組むことで、集客力のある観光資源との相乗効果を創出して地域の活性化を推進します。



やまなみハイウェイ観光連絡協議会 東京PR

12/14 やまなみハイウェイ沿線地域の活性化に取組む
新たな観光スタイル「新・やまなみ宣言」、東京で発表

12月14日、東京丸の内において、熊本地震からの復興に向けたやまなみハイウェイ沿線地域の活性化のため、「やまなみハイウェイ」としてのブランド化、新たな観光の形を、「新・やまなみ宣言」として発表。やまなみ地域一丸となって、HPやSNSでの情報発信などを行い、さらなる観光戦略に取り組みます。



熊本ごはん組

12/21 若手米農家の絆で挑む「夢を持てる米づくりで
熊本のいとなみ復興プロジェクト」を応援

若手米農家のつながりをつくり、米づくりを夢のある産業へと再生します。稲作勉強会、熊本在来品種「穂増(ほまし)」の栽培、米の加工品開発、地域のしめ縄再生、農家と繋がるmy田んぼセット開発(バケツ稻)、新米お披露目会などの活動により米農家の後継ぎや新規就農者を増やす、いとなみ復興を目指します。



南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会

12/13 南阿蘇にしかないオンラインの価値づくり
「つなぐ、つながる南阿蘇プロジェクト」を応援

業種を超えた40代以下約30名の「つなぐ、つながる南阿蘇未来会議」が中心となり、20年後の南阿蘇をより良くするために、南阿蘇にしかないオンラインの価値の発掘や、観光商品の育成、地域資源をつなぐ場の創出を行います。南阿蘇の星空と草原をつなぐ「宇宙(そら)ツーリズム」を開発し、「観光商品販売所」を設立します。



お出かけ肥後にわか 阿蘇市で開催

11/9 「これからもっと元気になるばい!~お出かけ肥後にわか~」
(劇団きゃあ公演)、阿蘇市で開催

11月9日、阿蘇市立阿蘇体育館を会場に、「これからもっと元気になるばい!~お出かけ肥後にわか in阿蘇市~」(RKK熊本放送主催)を開催。「阿蘇地域の方々に元気になってもらいたい」との思いを込めた公演に500人以上が来場され、多くの拍手と笑いに包まれ、ラジオの公開生放送、復興マルシェも盛り上りました。



Topics

「2017くまもと地域振興フェア『WONDER MESSE KUMAOTO』」に協賛

10月27日・28日、益城町のグランメッセ熊本で「2017くまもと地域振興フェア『WONDER MESSE KUMAOTO』」(主催:㈱肥後銀行・くまもと地域振興フェア実行委員会)を開催。熊本が持つ食・観光・歴史・技術などの魅力を国内外に発信するフェアで、今年は、「熊本地震からの創造的復興に向けた熊本の新たな挑戦」をコンセプトに、熊本の魅力を存分に体感できるコンテンツが揃えられました。会場内のブースで「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援の事業を紹介。「キリン一番搾り 阿蘇の草原に乾杯」「キリン 氷結® 熊本産みかん」のPR販売も行いました。



阿蘇の草原でBBQモニターツアー開催、「草原で乾杯」を実体験

阿蘇千年草原コンソーシアム(ANEKO)が取組む「農家で作る千年草原ファンプロジェクト」の一環として、11月12日に草原バーべキュー(BBQ)のモニターツアーを開催。世界屈指のカルデラを持つ阿蘇で、「千年前から続いている」といわれる草原を舞台に、BBQやドローン体験会を行い、草原ファンを拡大していくという目的で企画されました。牧野組合の協力を得て準備された草原のど真ん中という絶好のロケーションで、阿蘇地域の農家が提供する「あか牛」や地元野菜の魅力を五感で味わうことのできるぜいたくなイベントとなり、今後の展開が期待されます。

